

分野	荒廃山地の復旧等の治山			事業番号	4	事業名	山地治山(予防治山)		
市町村名	大町市	ふりがな 箇所名	おおふじ 大藤			事業年度 (完了年度は見込み)	H24 年度 ~	H25 年度	
事業概要	計画概要 (延長・幅員・面積・工種など)	山腹工 0.17ha(転石整理工、落石固定工)				H23年度末 事業進捗率	-		
	H24年度以降実施内容	同上				本工事費等ベース	-		
	H24年度実施内容	山腹工 0.15ha(落石防止網工、落石固定工)				用地補償費ベース	-		
	年度	全体事業費	H22年度まで	H23年度	H24年度	H24年度以降残			
財源内訳	事業費計(千円)	40,000			25,000	40,000			
	国庫支出金	20,000			12,500	20,000			
	その他								
	県債	18,000			11,250	18,000			
	一般財源	2,000			1,250	2,000			
箇所評価	観点	評価項目・指標等			評価		ランク	評点	
	必要性 (20)	保全対象人家	10戸以上	1~9戸	0戸	B	3		
		保全対象公共施設	2箇所以上	1箇所	なし		3		
		保全対象に災害時要援護者関連施設があるか	重要施設	一般施設	なし		0		
		保全対象(保安林・林業用施設)	「広域基幹林道」又は利用区域500ha以上の林道又は保安林率50%以上	保安林率30%以上50%未満又は流域対策上保全すべき森林あり	保安林率30%未満		5		
		小計					11		
	重要性 (15)	過去の災害履歴	過去5年に1回以上	災害履歴地	なし	A	5		
		交通遮断による地域経済などへの影響	大	中	小		5		
		防災計画上の位置づけ	あり	なし			5		
		小計					15		
	効率性 (20)	費用対効果(B/C)	B/C2.0以上	B/C1.0以上2.0未満	B/C1.0未満	B	7		
		早期発現度	3年未満	3年以上5年未満	5年以上		7		
		流域の総合調整	あり	なし			0		
		小計					14		
	緊急性 (25)	最寄の保全対象までの距離	50m未満	50m以上200m未満	200m以上	A	7		
		地形、地質の状況	火山噴出物、花崗岩、第3紀層、破碎帯かつ地すべり地形	火山噴出物、花崗岩、第3紀層、破碎帯	その他		3		
		平均深床勾配(平均山腹勾配)	10°以上(30°以上)	5°~10°未満(20~30°未満)	5°未満(20°未満)		3		
		下流の堰堤等の整備状況(他所管含む)	なし	あり(概ね満砂)	あり(ポケットあり)		5		
		危険地区危険度	Aランク	Bランク	Cランク なし		4		
		小計					22		
	計画熟度 (20)	地域からの要望	地域住民活動強い	市町村要望有り	特に要望ない	B	10		
		事業情報の共有	関係者以外にも周知	関係者中心に周知	特に周知していない		0		
		住民参加の状況	住民が直接参加	住民市町村意見を反映	住民意見反映していない		3		
		小計					13		
	費用対効果(B/C)		1.39		評価の合計		A	75	
事業周辺環境	事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	H5~H7 隣接地で治山事業による落石対策工事を実施済み。上部急崖部の風化が進行し、多数の亀裂や落石が発生している。H23春には、県道まで落石が落下した。直下の県道は、バス路線、小中学校の通学路にもなっており、地域の要望も高く、落石防止対策を緊急に施工する必要がある。							
	地域からの要望経緯	H23.6.3,H23.6.15 大町市美麻支所を通じ地域から要望があり、地方事務所林務課で現地確認を行った。							
	事業説明等の経緯	今後、計画の具体化に合わせ、適宜、事業説明を実施予定。							
	環境・景観への配慮項目	地形改変及び立木伐採を最小限に抑え、環境・景観への影響を最小限に留める工法を採用する。							
	他事業・プロジェクトとの関連	道路管理者の大町建設事務所が注意看板を設置。連携対応を検討中。							
	特記事項	地すべり防止区域							
地域の合意形成		全員賛成	概ね賛成	過半数賛成	動向不明	その他			
部意見	平成23年の融雪期に落石が発生しており、上部発生源には亀裂の発達した不安定な岩塊が存在している。下方には小中学校の通学路である県道があることから、対策を図る必要がある。			政策評価課意見	重要性が高く、緊急性も認められる。				